

令和6年度スマート農業に対応した基盤整備実践報告会 開催要領

1 目 的

これまで、次世代型生産基盤技術導入指針に基づき各種技術の導入を推進するとともに、現地研修会の開催やPR動画を作成するなどして、農業者の理解促進を図ってきた。これにより、地域の実情に応じた各種技術の導入が一定程度進んできたことから、実践報告会を開催し、実際に技術を導入した地区の成果等を関係者と共有し、更なる技術導入を促進していく。

2 主 催

栃木県農政部農地整備課

3 日時及び場所

- (1) 開催日 令和7(2025)年2月5日(水) 13:00～16:00
- (2) 場 所 栃木県土地改良事業団体連合会3階会議室 ※オンライン併用
栃木県宇都宮市平出町1260 TEL 028-660-5701

4 参集範囲

農業者、土地改良区、農業団体、県・市町の実務担当者

5 内 容

- (1) 次世代型生産基盤技術の導入推進について(県農地整備課)
- (2) 基調講演
「スマート農業に対応した農業基盤整備のあり方」
宇都宮大学農学部農業環境工学科 田村孝浩 教授
- (3) 実践事例の報告
 - ① 荒井町島地区(大田原市)
大区画化、排水路の暗渠化、RTK基地局と直進アシストの導入
 - ② 益子西部地区(益子町)
地下かんがいシステム、ドローンによる防除作業
- (4) 情報提供
RTK基地局に係る基礎知識